

政策過程と住民の関わり

1.政策過程（サイクル）

【課題設定】

社会の諸問題を察知、認識し、その問題の原因・背景を分析し、その問題に対して政府として対応するか否かを決定する。

【立案】

対応案（政策案）をいくつか策定し、それらの案の中でどれが最も有効か、効率的かなどを分析した上で、政策過程の次の段階（決定以下）へ引き継ぐべき政策案を選択する。

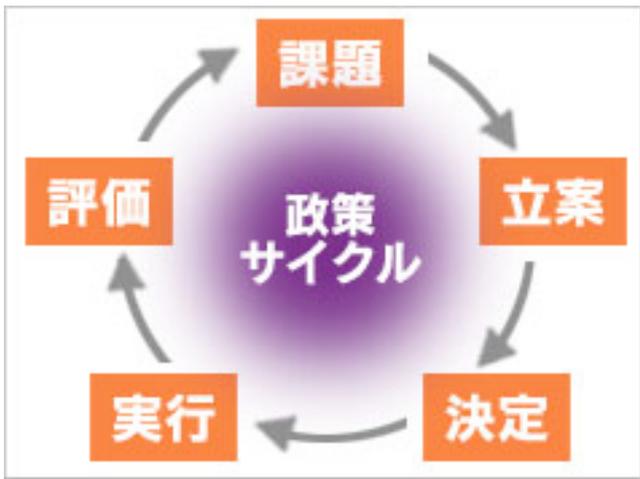
（【決定】）

【実行（実施）】

政府が公式に決定した政策を実際に社会に対して適用する。

【評価】

政策が決定され実施されたことによって生じた現実を明らかに、それに対して意義があったか否か、効果があったか否かという価値判断を行う。



	企画・立案	決定	執行	評価
参加(理念型)	→			
参加(現実)	→			
参画(理念型)	→			
参画(現実)	→			
協働(理念型)	→			
協働(現実)			→	

2 政策過程と住民の参加